わたしたちの物語

～　今だから思う、幸せな人生だった～

太田静枝さん(７８歳)＆昭和女子大学三年実習生

私はね、福島の出身。
水戸の看護学校卒業して、すぐ働いて結婚して子育てもして、
そう、遊ぶ余裕はどこにもなかったよ。
だって、子供三匹も産んだんだよ。
四年間に三人。すごいでしょ。
だから、働いたよー、働いた。
お家だって二十四で作ったんだよ。
結婚して一年で作ったの、大変だったよ。
立派な大きな家ではなかったけど、そこに一生住めるのかなと。
若さだよねぇ、そう思ったんだもん、その頃はね。

東日本大震災で、家は半壊したよ。
同じ時期にガンが見つかって、福島の家は更地にして、
東京に治療に来たわけ。

こんな病気したからさ。
時にはマイナスに考える時もあったよ、私だってね。
もちろん生きて福島には帰れないと思った。
でも逆に考えれば、
病気したから皆さんと会えるし、
病気したから東京に来れたんだと思えばいいね。
あれからもう十年近く生きてるからさ。
手術してからなんだかんだで、命はいられたなと思ってるから。
自分ではね、もう、
百パーセントのはなまるだっていうことだよ。

それでも文句言ってんだからどうしようもないね。
今だって帰れるもんだったら帰りてえって。
自分の住んだところだから食べ物だってなんだって合ってるんだよね。
娘に言うと、なにーって言うんだよ。

私も本当のこと言っちゃうから。
子供もみんな丈夫に育ってくれたから、
本当、申し分ないんだけどね。

私はね、人間ってのは欲なのかなって思う時、あるね。
今なら、やっぱり健康だね。
その辺歩いて、へとへとしてたら困っちゃうじゃん。
寿司は大塚に行ってるし。
うなぎ、そば、食べに行くの好きだし。
あと今は、平和にというか、何もなく暮らせてるのが
一番だって、そう思うよね。

結構お話乗ってくれる人もいるね。
楽しくなくっちゃ、お話だって。
その時間を共有するじゃん。
やっぱりその場は絶対楽しく盛り上がりたいタイプ。
人間の輪っていうの。輪の心。

そういうのを大切にしたい方なんだ、私の場合は。

